

事前評価調書

I 事業概要																																							
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																						
地区名	主要地方道 <small>とよはしのりもとせん</small> 豊橋乗本線																																						
事業箇所	<small>とよはしあさひほんまち</small> 豊橋市旭本町地内始め																																						
事業のあらまし	<p>本路線は、<small>とよはし</small>豊橋市中心街から<small>とよかわし</small>豊川市を経由し、<small>しんしろし</small>新城市へ抜ける幹線道路である。</p> <p>当該区間は豊橋市市街地に近く交通量が多いが、右折帯のない交差点が連続していることから、朝晩の通勤時には渋滞が生じている。この渋滞を避けるため、小学校の通学路として利用されている生活道路を抜ける車両が多く、これらの交通に起因する死亡事故も過去に発生している。</p> <p>以上を踏まえ、交通円滑化と危険通学路の解消を主な目的とし、本線に右折帯を設置する交差点改良に着手するものである。</p>																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通円滑化 ② 危険通学路の解消</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																						
事業費	事業費		内訳																																				
	2.00 億円		■工事費 1.50 億円、■用補費 0.30 億円、■その他 0.20 億円																																				
事業期間	採択予定年度	平成 30 年度	着工予定年度	平成 30 年度	完成予定年度	平成 34 年度																																	
事業内容	・交差点改良 延長 L=0.30km、幅員 W=11.5m																																						
II 評価																																							
①事業の必要性	1) 必要性	<p>本事業区間は、右折車線のない交差点が連続していることから、朝晩の通勤時には、右折車両による直進車両の進行阻害のため、渋滞が生じている。この渋滞を避けるため、脇の生活道路を抜ける車両が多く、このような交通に起因する死亡事故（466 件/億台キロ）も発生している。そのため、現状を解決するため、当該事業区間における交差点改良（右折車線の設置）が必要である。</p>																																					
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 現状の課題から事業の必要性があると判断されるため。</p>																																				
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">2.0</td> </tr> </tbody> </table>							H30	H31	H32	H33	H34	工種 区分	調査・設計	←	→				用地・補償		←	→			工事		←	→	←	→	事業費（億円）		2.0				
			H30	H31	H32	H33	H34																																
工種 区分	調査・設計	←	→																																				
	用地・補償		←	→																																			
	工事		←	→	←	→																																	
事業費（億円）		2.0																																					

2) 地元の合意形成	地元からの要望もあり、市の通学路交通安全プログラムの対象となっていることから、合意形成は図られている。	
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】 地元の合意形成も図れており、事業執行環境は整っており、実効性が期待できるため。	
Ⅲ 対応方針		
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>工事実施前後の交通状況（事故の発生状況）の変化と歩行者等の安全性の変化</p>		

